



千葉労働者

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

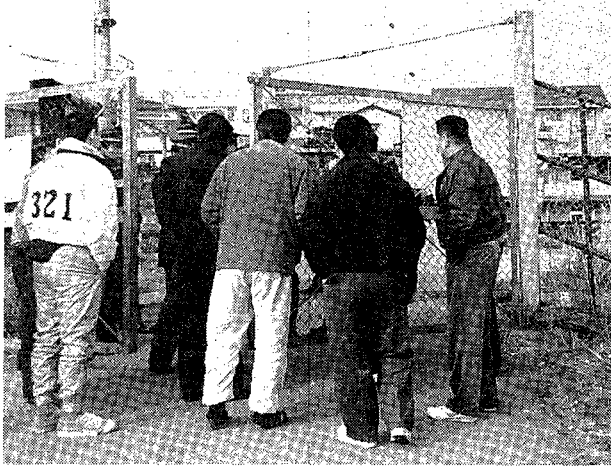
92.2.25 No. 3545

乗務員は黙ってはいない!

「何もしないで終わらせない」(山田支部長)

津田沼拠点におけるストライキは、前日までに対象者全員にオルグが終了し、万全の体制を確立した。

スト当日は、九時のスト突入後対象者が結集して一〇時から突入集会を開催した。山田支部長は「今回のダイ改は全乗務員が黙って



この間の団交の経過と意義が報告され、さらに、二月から三月に山場が来るであろう清算事業について語られ、全組合員が団結して闘うことを確認した。
集会後は、津田沼支部としての動乗改悪に対する取り組みの討論を行った。
一四時三〇分過ぎに全員で習志野運輸区に行き、当局と送り込みと勤務の確認を行い、一五時三〇分過ぎ、残った組合員で集約集会を開き、今後さらにも闘いぬくことを確認し体制を解除した。
当局と立ち上りの確認を行う(津田沼)

3・15国鉄労働者集会に 全力で結集しよう!

とき 3月15日(日) 13時から
ところ 墨田リバーサイドホール(墨田区役所内)

浦勝の仲間も結集

勝浦拠点における二・二一ストライキは、房総半島には珍しい大雪の中で、全組合員の協力により、スト突入、乗務員の収容・送り込みと、短い時間のも係わらず完璧にやりきった。

支部執行部は、二日間にわたる全組合員オルグ、前日はろう城体制で取り組み、当日出先で突入する泊仕業の乗務員、早出の組合員の組合点呼を行って万全の体制でのぞんだ。
二一日九時一〇分、勤務以外の組合員は、所定の場所に結集し、ストに突入した乗務員、指導、技



時間になっても門を開けない当局に抗議をたたきつける(浦勝)

術の仲間の到着を待つてスト突入集会を開催した。集会には、営業に配転された仲間や、いすみ支部、総武支部の仲間が駆け付け、それぞれ連帯のあいさつを行った。
集会後、交流・討論集会が行われる中で、鴨川方面、続いて茂原・一の宮方面でストに入った乗務員が到着。全組合員が拍手で迎えて交流の輪に入った。

一二時、午後の集会を開催。千葉方面でストに入った八名の仲間が到着。一三時一五分、まず電車便乗となる千葉方面への乗務員の送り出し、続いて茂原・一の宮・蘇我方面、鴨川方面へと全員拍手で送り出した後、一四時四〇分、スト終了後の就労者を送って全員運輸区へ。この時、勝浦駅一五時丁度の出勤時間を指定しながら一五時ならなければ門を開けないという当局の対応に全員で抗議。当局側の対応は、本部・支社間で決めたスト立ち上りの確認を、当局側が妨害するものであり許せない対応であるとの抗議で一〇分前に庁舎に入れることでその場は収まったが、こうした妨害行為に対しては今後戦術の拡大で対応することも考慮せざるを得ないものである。
一五時に勤務が残っている組合員を就労させた後、集約集会を行い、二月清算事業闘争の先頭で闘う決意を打ち固め散会した。